

(工学部・工学研究科)
公益財団法人小林財団 2026 年度
外国人留学生奨学生の募集

2026.6.3

1 応募資格・・・次のすべてに該当する者

- 1) ※アジア諸国の国籍を有し、2026年4月1日現在で35歳以下の私費留学生(在留資格「留学」)
※ただし、中国・台湾・韓国籍以外の者を優先。
- 2) 2026年4月に学士課程・修士課程・博士課程に1年生として入学、進学した者。
- 3) 日本語能力試験1級を保持する者。
- 4) 他の奨学金を受けていない者(LEAPプログラム等の研究奨励費との併給不可)。
- 5) 生計維持者全員の前年度の合計年収が日本円で500万円相当以下の者。
- 6) 財団が年3回主催する奨学生交流会(9/28, 11/14~15, 3/5)に出席できる者。

Applicants must hold JLPT N1 certification to apply.

2 支給金額・期間

学部生:月額15万円、大学院生:月額18万円 期間:在籍課程の正規修了年限まで。

3 提出書類

- 1)奨学金申請書(所定様式・写真貼付・A4用紙1枚) ※「大学の担当部課等」欄は記入不要。
- 2)履歴書(所定様式・A4用紙1枚)
- 3)身上書(所定様式・A4用紙1枚) ※日本での連絡先は一時帰国等の可能性のある知人(留学生)は避けること。
- 4)身上書の別添記入用紙(所定様式・**日本語自筆**・A4用紙1枚)
- 5)在学証明書(原本)
- 6)在留カードの写し(両面)
- 7)課税(又は非課税)証明書、又はそれに準ずる公的書類 ※日本語以外で記載の場合は、日本語又は英語訳を添付。
- 8)経済状況調書(所定様式)
- 9)成績証明書:現課程及び前課程のもの(学部生は現課程及び高校時のもの)
※ 成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること。
- 10)指導教員による推薦書(任意様式・A4用紙1枚・**厳封、工学部・工学研究科からの推薦が決まった後に提出**)
- 11)民間奨学金申請時の心得(所定用紙)
- 12)私費外国人留学生身上調書(所定用紙) 13)家計状況申告書(所定用紙)

4 推薦人数等 工学部・工学研究科から3名(各国1名)

5 申請書の提出 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3階)

6 締切日 2026年6月19日(金)

※2026年度に他奨学金の受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者は推薦対象外です。

令和8年度（2026年度）
公益財団法人小林財団外国人留学生奨学生募集要項
（一般奨学金）

1. 応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、アジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院に在学する者で、2026年4月1日現在、35歳以下の者
- (3) 修学のために経済的援助を必要とする者（生計維持者全員の前年度の合計年収が日本円で500万円相当以下を目安とする。）で、他の奨学金を受けていない者
- (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康である者
- (5) 日本語による意思伝達が可能である者（日本語能力試験1級）
- (6) 国際理解と国際友好親善に寄与できる者
- (7) 奨学生交流会（①9/28贈呈式、②11/14-15研修旅行、③3/5設立25周年記念式典）に出席できる者

注) なお、次の者は除外します。

- ・ 将来、学術振興会の特別研究員事業、科学技術振興機構の次世代研究者挑戦的研究プログラム等の各種支援事業並びに他の奨学金への応募を希望する者

2. 新規募集人員 30名程度

3. 対象学年

学部学生の場合：2026年4月に1年生として入学した者

修士課程の場合：2026年4月に1年生として入学又は進学した者

博士課程の場合：2026年4月に1年生として入学又は進学した者

4. 奨学金

【支給月額】

学部生	月額15万円
修士課程	月額18万円
博士課程	月額18万円

【支給方法】

本奨学金は4月分を起算とし、原則として毎月1か月分を支給する。ただし、採用初年度の支給スケジュールは以下のとおり調整して行う。

- 初年度：10月～3月：毎月2ヶ月分を支給（※4～9月までの未支給分を上乗せ）
- 翌年度以降：毎月1ヶ月分を支給

5. 奨学金支給期間

(1) 一般奨学金

学部生

原則として、在籍する学部・学科の最短修業年限（4年または6年等）とする。

修士課程

原則として、在籍する研究科・課程の最短修業年限（2年等）とする。

博士課程

原則として、在籍する研究科・課程の最短修業年限（3年または4年等）とする。

6. 募集方法

大学を通じて募集する。

7. 応募の手続き

次の書類を揃え、在学する大学において指定する日までに、大学の事務局に提出する。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
- (2) 履歴書（所定の様式）
- (3) 身上書（所定の様式（フォーム入力および別紙への記入））
- (4) 在学証明書
- (5) 在留カードの写し（住所、氏名、在留資格の確認）
- (6) 課税（または非課税）証明書、またはそれに準ずる公的書類
※日本語以外の言語で記載されている場合は、日本語または英語の訳文を必ず添付すること。
- (7) 成績証明書：直前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等
- (8) 推薦書（学部長、研究科長又は指導教員による封緘書）
用紙は、A4サイズで1頁

8. 選考及び決定

推薦された者について、本財団に設置する選考委員会の選考を経て、理事会が奨学生を決定する。

採用決定者については、9月中に大学及び本人に通知する。

9. 奨学金の停止

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の支給を休止（停止）することがある。なお、その事由が解消し復学等をした場合は、支給を再開する。

- (1) 休学または1カ月以上長期せ欠席する時
- (2) 転学するとき
- (3) 外国へ留学するとき
- (4) 学則により処分を受けた時
- (5) 在留資格に変更があった時
- (6) その他本人に関する重要な事項に変更があった時

10. 奨学金の支給の打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の支給を打ち切ることがある。

- 1) 在学する大学における学籍を失ったとき
- 2) 病気その他の理由により成業の見込みがないとき
- 3) 理由なく1月以上にわたって欠席したとき
- 4) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- 5) その他奨学生としての資格を失ったとき
- 6) 無断で奨学生交流会を欠席したとき
- 7) 本要項に定める義務の履行を怠ったとき
- 8) 他の奨学金を受給したとき
- 9) 所定の最短修業年限を超過したとき（いわゆる留年が決定したとき）

- 10) その他、財団が求める報告書の提出がない場合や、財団との連絡が長期的に途絶えたとき
- 11) 本財団又は本財団の支援企業（者）の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき

1.1. 採用の取消しおよび奨学金の返還

以下のいずれかに該当した場合は奨学生の採用を取り消し、既に支給した奨学金の全部または一部の返還を求めることがある。

- 1) 申請書類に事実と異なる記載（虚偽）があったとき
- 2) 本財団が定める規程に違反したとき、または奨学生としての義務を怠ったとき

1.2. 報告書の提出

奨学生は、理事長から求めがあったときは、学習の状況（学業成績を含む。）及び生活状況について報告書を提出しなければならない。

1.3. 注意事項

この要項に記載してある事項について不明の点があれば、大学の事務局に照会すること。

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

—奨学金申請時の心得について—

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2026.04.01

1. 申請の前に

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

また、本学の推薦を経て採用された後に、他の奨学金への申請等を理由として辞退することは認められません。財団からの信頼を損なうのみならず、次年度以降の推薦枠の減少を招くなど、本学全体に不利益を及ぼす可能性があることを十分に自覚したうえで申請してください。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL
氏 名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所)			

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部 年	学部 年	学部 年	学籍番号	
	MC 年	DC 年	大学院 年	大学院 年		
氏名						

家計状況

* 2025年4月から2026年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2025年10月入学の場合は2025年10月から2026年3月までについて記入してください。

収 入			支 出		
自己資金(預金)	円		授業料		円
仕送り	円		住居費		円
奨学金	円		生活費		円
その他()	円		その他()		円
合 計	円		合 計		円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

* この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)

--

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2026	前期	申請中	申請なし			
2025	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）